



2023年4月11日

各 位

会社名 株式会社 ライトオン
代表者名 代表取締役社長 藤原 祐介
(コード：7445 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 大友 博雄
(TEL：029-858-0321)

2023年8月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正、
並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2022年10月11日に公表しました2023年8月期第2四半期累計期間(2022年9月1日～2023年2月28日)の業績予想値と実績値に差異が発生いたしました。あわせて、2023年8月期通期(2022年9月1日～2023年8月31日)業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、特別損失の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年8月期第2四半期業績予想値と実績値との差異(2022年9月1日～2023年2月28日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年10月11日公表)	27,000	500	450	150	5円07銭
実績(B)	24,600	254	191	△95	△3円22銭
増減額(B-A)	△2,399	△245	△258	△245	
増減率(%)	△8.9	△49.1	△57.4	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年8月期 第2四半期)	25,213	484	441	38	1円34銭

2. 2023年8月期通期業績予想の修正(2022年9月1日～2023年8月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年10月11日公表)	52,000	600	500	100	3円38銭
今回修正予想(B)	47,800	150	50	△550	△18円59銭
増減額(B-A)	△4,200	△450	△450	△650	
増減率(%)	△8.1	△75.0	△90.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年8月期)	48,229	239	7	△1,166	△39円86銭

3. 第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正の理由

当第2四半期累計期間は、ワクチン接種の進行により行動制限等が緩和されることで個人消費は徐々に上向き、売上高は緩やかに回復していくと想定し、売上高は前年比7.1%増の27,000百万円（既存店売上高前年比109.0%）を見込んでおりました。しかしながら、11月は冬物全体の出足が鈍く、特に防寒アウターの販売が大きく落ち込んだ他、スウェットやニットなどのコーディネートアイテムのバリエーションが不足するなど冬物の買上げ点数が伸び悩みました。また、12月は気温低下とともに冬物需要が本格化したことで防寒アウターを中心に冬物は好調に推移しましたが、ボトムスやスウェットなどの定番商品が値上げ等の影響もあり苦戦したため、前年と比べセール売上比率が高く、客単価が下落したことで、最大商戦期において売上が苦戦し、前年同期比2.4%減の24,600百万円（既存店売上高前年比100.1%）と計画を下回ることとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少に加え、売上拡大に向けたLINE配信件数の増加等、デジタル広告宣伝の強化を実施したことや光熱費等の単価上昇により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益、経常利益ともに計画を下回りました。また、収益性の厳しい店舗の減損損失を特別損失に計上したことなどにより最終損益も計画を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、入国規制や行動制限の緩和及び5類感染症への位置づけの変更に関する方針の決定などの状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症による影響は限定的になると想定するものの、不安定な海外情勢や円安による電気料金、食品等の相次ぐ値上げによる節約志向の高まりから、慎重な消費行動は続く想定し、下期の売上高を期初計画の25,000百万円（既存店前年比110.5%）から7.2%減の23,199百万円（既存店前年比104.0%）と見込んでおります。

利益計画につきましては、引き続き、販売費及び一般管理費の抑制に努めるものの、売上高の減少に加え、原料及びエネルギー価格高騰に伴う商品仕入コストや光熱費の上昇により、利益率が悪化することが予想されるため、計画を見直しております。

4. 特別損失の計上

当社は、2023年8月期第2四半期会計期間（2022年12月1日～2023年2月28日）において、閉店を決定した店舗及び収益性の低下がみられた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失103百万円を計上したこと等により、当四半期会計期間で計上した特別損失は合計で137百万円となりました。

以上